



Rally challenge 2013



現役のトップレーシングドライバーも参戦！ 大いに盛り上がった長野ラウンド。

Rally Data

TRDラリーチャレンジ2013 Round 2 in 長野

主催	チームプロクルーズ(T-PROCREWS)	
開催日	2013年6月2日(日)	
開催エリア	長野県内	
セレモニアル スタート会場	菅平裏太郎駐車場	
サービスパーク	菅平裏太郎駐車場	
ゴール会場	菅平裏太郎駐車場	
セクション数	2	
SS本数	7	
SSトータル距離	14km	
総走行距離	110km	
参加台数	33台	
	クラス1 6台	
	クラス2 6台	
	クラス3 9台	
	クラス4 7台 クラス5 5台	
出走台数	33台	
完走台数	32台(リタイヤ1台)	
取材媒体	株式会社タイムス社 CARトップ (一般自動車誌)	
	株式会社ソニックビジョン テレビ愛知 黒ちゃんねる(テレビ)	
	トヨタメディアサービス GAZOO Racing HP (ウェブサイト)	
	コード株式会社 テレビ東京 SUPERGT+(テレビ)	
	(合)サンク WRC PLUS (一般自動車誌)	
	(合)サンク プレイドライブ(一般自動車誌)	
	講談社ビーンズ(委託 あとリスとるびよん)	
	ベストカー (一般自動車誌)	
	株式会社JAF出版 JAFスポーツ (一般自動車誌)	

レーシングドライバー脇阪・飯田組が参戦。 最後まで手に汗握る熱いバトルを展開！

2013年6月2日(日)、長野県菅平エリアにおいて『TRD ラリーチャレンジ 2013 Round 2 in 長野』が開催された。関東が梅雨入りしたこともあり雨も心配されたが、当日は晴れ間も覗くラリー日和。前戦を凌ぐ33台のエントリーを数え、今回はGAZOO Racingドライバーの脇阪寿一選手・飯田章選手が参戦することもあり、会場はスタート前から興奮と熱気に包まれていた。



人気ドライバーコンビが出場するとあり、ファンの方々や取材メディアが多数サービス会場に訪れた。





今回のラウンドは、今期初のグラベルSSが3ステージ、林道を使用するターマックSSが4ステージ、計7ステージで争われた。峰の原高原スキー場を舞台にしたグラベルSSでは、舞い上がる砂塵に視界を遮られ苦戦するドライバーが多く見受けられ、いかにコ・ドライバーとペースノートを信じるかが鍵となった。

前回木曽ラウンドで86に勝利を奪われリベンジに燃えるヴィッツ勢。特にクラス2の戸塚・角田組とクラス5の西能・波田組は、序盤から果敢に攻め、86勢からリードを奪った。



1.18kmと距離が短く道幅がタイトなSS2でもヴィッツ勢は健闘するが、3.77kmのハイスピードステージとなるSS3からクラス4勢が追い上げを見せる。また、クラス2内でも戸塚・角田組と松岡・伊藤組の争いが激化。SS毎に1位と2位を入れ替えていった。そこに、午後から調子を上げてきた脇阪・飯田組もバトルに加わり、最後の最後までどうなるか分からない白熱の展開となった。

結局、最終のSS7までデッドヒートは続き、最終的に勝利を飾ったのはクラス5の西能・波田組。10秒近くのリードを広げての勝利だった。

2位はクラス2の戸塚・角田組。松岡・伊藤組と1.8秒差、3位の脇阪・飯田組とはなんと0.3秒差の勝利であった。次戦は全日本ラリー選手権と併催となるモンレー。さらなる熱い戦いが期待できそうだ。



SS コースレイアウト

Section 1

SS1	グラベル A	1.180 km
SS2	ターマック A	1.570 km
SS3	ターマック B	3.770 km

Section 2

SS4	グラベル B	0.780 km
SS5	ターマック A	1.570 km
SS6	ターマック B	3.770 km
SS7	グラベル B	0.780 km





class
1

1500cc (NCP131) クラス



class
2

1500cc (NCP91) クラス



class
3

1000cc (SCP10) クラス



class
4

トヨタ車 (1500cc 以上) クラス



class
5

トヨタ車 (1500cc 未満) クラス



ラリーチャレンジ初参加のみなさん

次回、第3戦は7月26日(土)~27日(日) 群馬県内にて開催予定です。
 ※JAF 全日本ラリー選手権 第5戦「モンレー 2013 in 群馬」と併催。